

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4670102724
法人名	有限会社 コーボー
事業所名	グループホーム コーボー
訪問調査日	平成 19 年 8 月 22 日
評価確定日	平成 19 年 10 月 23 日
評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会

### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 8月 30日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4670102724		
法人名	有限会社 コーボー		
事業所名	グループホーム コーボー		
所在地	鹿児島市西陵五丁目12-3 (電話) 099-283-6723		
評価機関名	NPO 社会保障制度活用支援協会		
所在地	鹿児島市城山一丁目16-7		
訪問調査日	平成19年8月22日	評価確定日	平成19年10月23日

【情報提供票より】(19年 7月 27日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 4月 30日
ユニット数	3 ユニット 利用定員数計 27 人
職員数	25 人 常勤 11 人, 非常勤 14 人, 常勤換算 19.3

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り
	3階建ての 1階 ~ 3階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000 円	その他の経費(月額)	実費 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

## (4) 利用者の概要(7月27日現在)

利用者人数	26 名	男性	4 名	女性	22 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名		
要介護3	7 名	要介護4	6 名		
要介護5	3 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	72 歳	最高	98 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	田上記念病院 西歯科医院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム コーボーは、住宅地の中の利便性のある場所にある。町内会に加入し町内会の行事にすすんで参加して、地域に密着したホームである。管理者の利用者に対する思い入れは、深いものであり、職員も同じ考えで協力的でチームワークが良いと感じられた。これからは、他のグループホームとの交流・勉強会を増やし、更なるサービスの向上を期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の改善課題はなかったが、外部評価の結果について、職員会議で話し合っている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	各ユニットで職員が話し合い自己評価に取り組んでいるが、ユニットの特色がみえる評価を期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	昨年11月から2ヶ月に1回開催している。家族の要望を聞いて話し合ったり、地域の方から地域の行事の情報ももらっている。グループホームとしては、開催場所に苦慮している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族会・面会時に、利用者の生活の様子を報告したり、医療面の相談を受け家族は安心している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入して、町内運動会・リサイクル運動に参加し、また町内の方のボランティアを受けている。近隣の商店・住宅の方々との交流もあり外出傾向のある利用者の情報に協力してもらえる関係ができています。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今までの理念に加え、スタッフの取り組みとして、[地域の中で暮らしがより豊かなものになるように]と地域密着型サービスについて掲げている。		
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の申し送り時に、職員全員で唱和して、職員は意識付けし、理念の実践に日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して、町内運動会・リサイクル運動など、地域の行事に積極的に参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の外部評価は改善点がなかった。今回の自己評価は職員で話し合っ、取り組んだが、3ユニットが同じ評価になっていて特色が見られない。		3ユニットの特色がみえる自己評価になるように期待したい。
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年11月から2ヶ月に1回、今までに5回開催している。地域の代表者から地域の行事の情報をもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者への相談にとどまって連携にいたってない。		市町村・包括支援センターなどが、事業所の行事に参加してもらえるように、再々の働きかけを期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に生活の様子を報告を行い、毎月請求書と一緒にホーム便りを送付している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や面会時に問いかけて意見・相談をもらい、家族の心配事を少なくすることを心がけている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	本部への異動があるが、3ユニットでカバーして、引継ぎでの利用者のダメージを防いでいる。		
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職者は、利用者のことを一人ひとり分かってもらうことから始め介助対応を学び、その後技術的な指導に入る。市・県のグループホームの研修に参加して、ミーティングで全職員に報告している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会への参加はしているが、同業者との勉強会はない。		法人関連のグループホームなどと、勉強会・相互訪問などとして交流を通じた向上を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者本人・家族が見学して、納得してもらってから入居してもらっている。入居してから個々の性格・病状を把握しながら場の雰囲気作りをして、徐々に馴染めるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の得意分野を見つけること、活かすことを役割と考え日々利用者と一緒に過ごしている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話や行動から本人の希望・意向の把握に努め、家族と相談して、意向に沿えるように検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画を見直す時、職員の意見を聞いて介護計画を作成している。		毎日のサービスのケアの実施記録を作成し、日々の職員の気付き、意見を記録に残し介護計画作成に役立てることを期待します。
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居時は、1ヶ月後に見直し、その後3ヶ月後、6ヶ月後に見直しをしている。状態が変化した場合は、本人、家族、主治医等と話し合い介護計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	往診を近隣のかかりつけ医にしてもらっている。家族の要望があった時は、病院の送迎に同行している。早期退院の支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	田上記念病院で全員受診している。主治医の指示を職員は共有して、介護している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、意思確認を口頭でしている。急変時は、田上記念病院のホットラインで対応している。		本人・家族・かかりつけ医等と方針を共有し、意思確認書を作成されることを望みます。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	毎月のミーティングで話し合ったり、新人の教育時に羞恥心を和らげる声かけ・対応などを指導している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースを大切にして、寝坊させたり、晩酌を楽しんだりしている。買い物・散歩など希望があれば一緒に外出して支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は一緒だが3ユニットでそれぞれ食べたいものに調理している。ドライブに行ったとき、そば屋・寿司屋などで外食している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ユニットによって月・水・金または火・木・土に分けて入浴しているが、希望があれば毎日の入浴が可能である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	卵焼き作り・下ごしらえ・下膳・片付けなどの役割、ハーモニカ・踊り・カラオケなどの楽しみごとの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	パン屋・スーパーへの買い物、近隣の公園への散歩など希望に添えるよう支援している。敷地内での菜園作り・夕涼み・日光浴などを行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外出傾向がある利用者が外出したときは、近隣の商店・住宅の方々が見守り声かけや連絡してくれる関係ができています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回火災・地震を想定した消防訓練をしている。飲料水の準備はあるが、非常食の備蓄はない。		夜間想定・水害想定など避難訓練の回数を増やし、職員全員が自信を持って非難誘導できることを期待したい。非常食の準備をされることを望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日1300カロリー・水分量1 から1.5 摂取している。管理栄養士に半年に一回栄養指導をしてもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各ユニットは、それぞれ利用者の好きな場所に家具の配置をして、利用者は一日のほとんどを共用空間で居心地よく過ごされるほどである。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族が新しいものを持ってこられているが、管理者の意向は、使い慣れたものを持ち込んで欲しいと考えている。		家族への再々の声かけで利用者の居心地のよい居室になることを期待します。